

日本の臨床検査技師における勤務時間内の休憩中の過ごし方とワーク・エンゲイジメントの関連性に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年12月11日～2024年3月31日
研究課題	日本の臨床検査技師における勤務時間内の休憩中の過ごし方とワーク・エンゲイジメントの関連性
研究の概要	<p>目的及び意義：</p> <p>本研究の目的は、勤務時間内の休憩中の過ごし方（リカバリー経験）とワーク・エンゲイジメントおよびストレス度の関連性を検討することである。近年、医師の長時間労働への対策のひとつであるタスク・シフト/シェアによって、臨床検査技師の働き方にも変化が見られる。そのため、臨床検査技師のメンタルヘルスの現状を明らかにし、今後メンタルヘルス不調を防止するためにも意義があると考えます。タスク・シフト/シェアによって業務範囲が拡大され他業種との協働・連携が求められる状況において、臨床検査技師が働きがいを持って生き生きと業務を遂行するために望ましい職場環境について考察・提案することが可能となる。</p> <p>対象：</p> <p>熊本県臨床検査技師会および鹿児島県臨床検査技師会に所属する臨床検査技師および衛生検査技師約2000名を対象とする。</p> <p>方法：</p> <p>研究代表者が作成したWebフォームを用いて無記名の横断調査を実施する。調査には、日本語版リカバリー経験尺度：REQ-J、新職業性ストレス簡易調査票短縮版：BJSQ、ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度日本語版：UWES-J短縮版を用い、他に基本属性、勤務状況、休憩環境が含まれる。収集した回答内容をもとに、相関分析及び勤務状況や休憩環境を調整変数とした重回帰分析を行う。</p>
研究組織	<p>研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 修士課程 古嶋いずみ</p> <p>研究分担者：ヘルスイノベーション研究科 准教授 津野香奈美</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 教授 徳野慎一</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究では、匿名で調査項目の回答を収集し、個人情報は取り扱わない。本研究で収集された回答内容などの情報は、研究の目的以外の理由で使用しない。本研究では、調査やデータ作成・管理において委託を行わない。</p>
その他	特になし

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者： ヘルスイノベーション研究科 修士課程 古嶋いずみ

研究分担者： ヘルスイノベーション研究科 准教授 津野香奈美

ヘルスイノベーション研究科 教授 徳野慎一

TEL : 044-589-8100 (代表)